

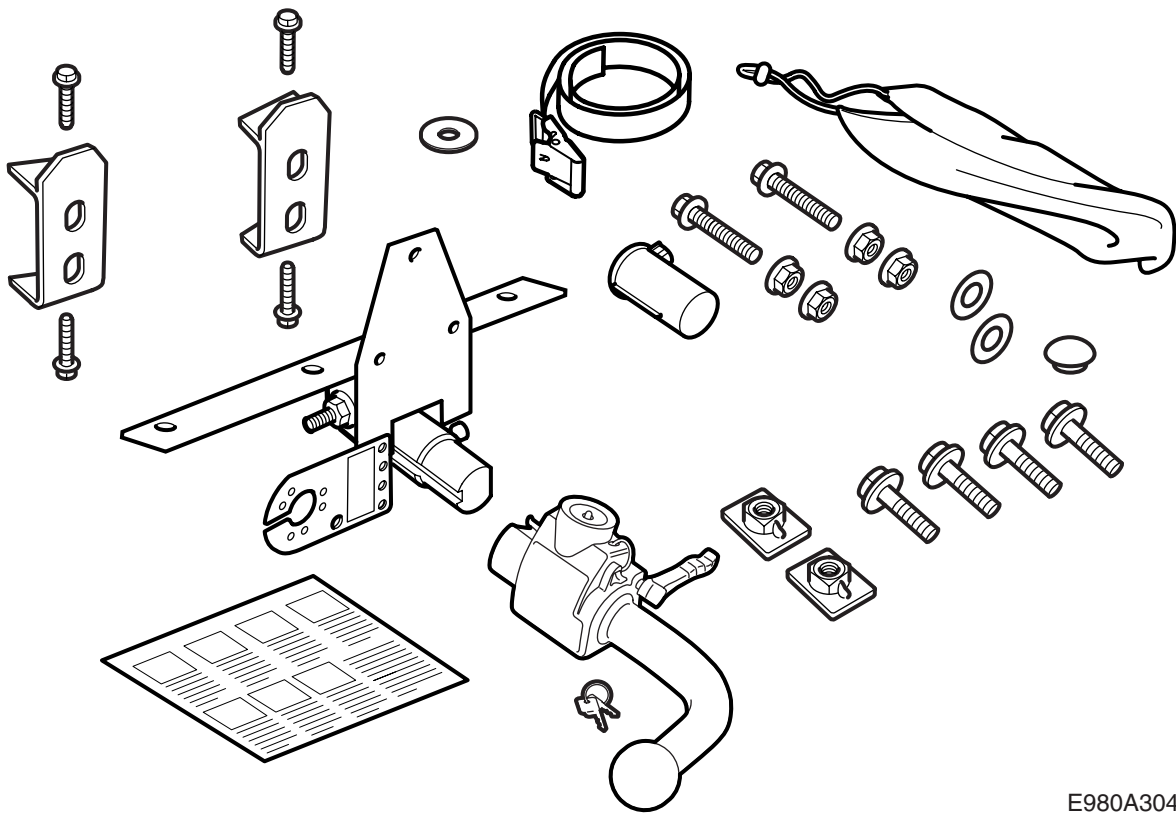


MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE

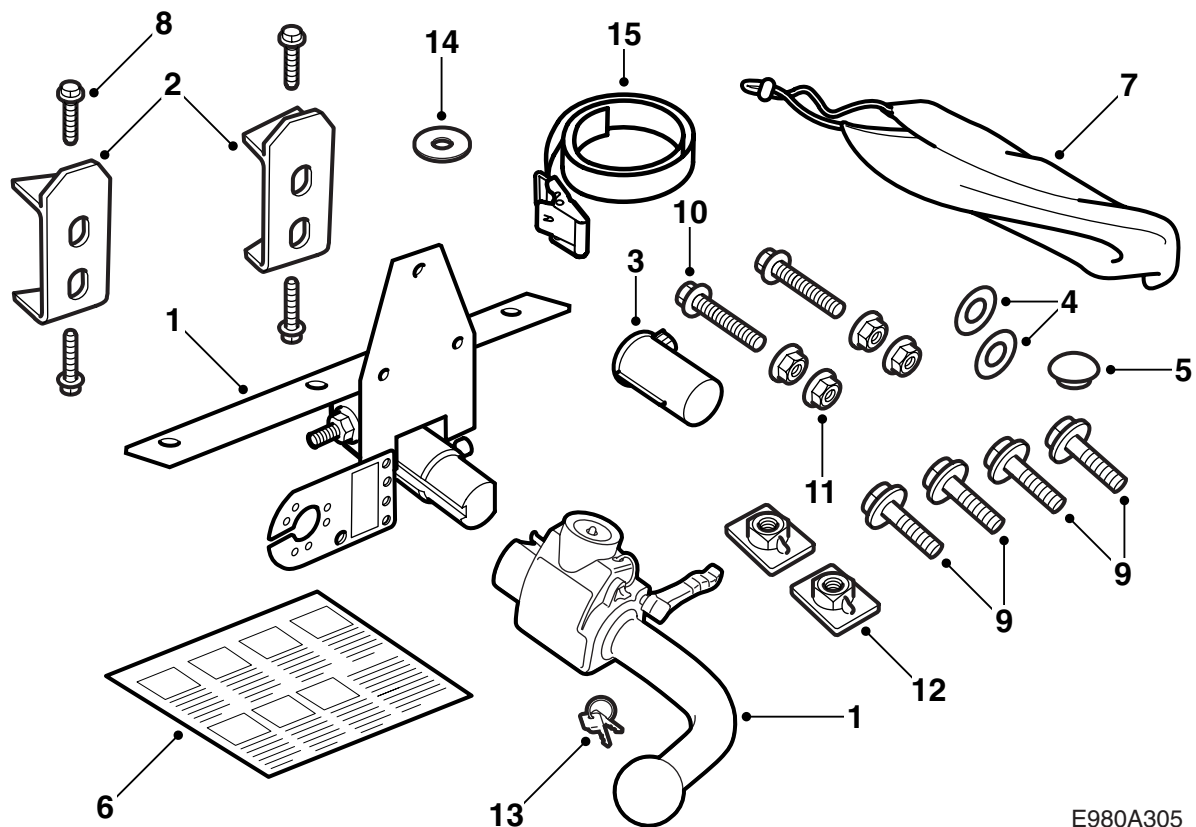
Saab 9-5 5D

取外し式けん引装置

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
400 132 676 400 132 684	8:60-45	Nov 02	53 37 290	



E980A304



E980A305

- 1 けん引装置
- 2 補強部 (x2)
- 3 カバー
- 4 シール (x2)
- 5 ゴムプラグ
- 6 取扱説明書
- 7 保存袋
- 8 タップタイトネジ (x4)
- 9 ネジ M10X30 (x7)
- 10 ネジ M10x70 (x2)
- 11 ナット (x4)
- 12 ナットプレート (x2)
- 13 キー (x2)
- 14 ワッシャ (x2)
- 15 ベルト

400 132 676 (Saab パーツ番号 55 22 511) :
車高調整装置のない車両用

400 132 684 (Saab パーツ番号 55 22 529) :
車高調整装置を装備した車両用

注記

けん引装置取付に適用されるその国の法律上の要求や規定を必ず確かめること。これらを満たすよう気をつけること。

このけん引装置は、94/20/EEC 規定による要求を満たすものである。

最大許容トレーラー重量：

ブレーキ付きトレーラー：1,800 kg

ブレーキ無しトレーラー：運転可能状態におけるけん引自動車重量の 50 %、ただし最大 750 kg (1,650 lbs) まで。

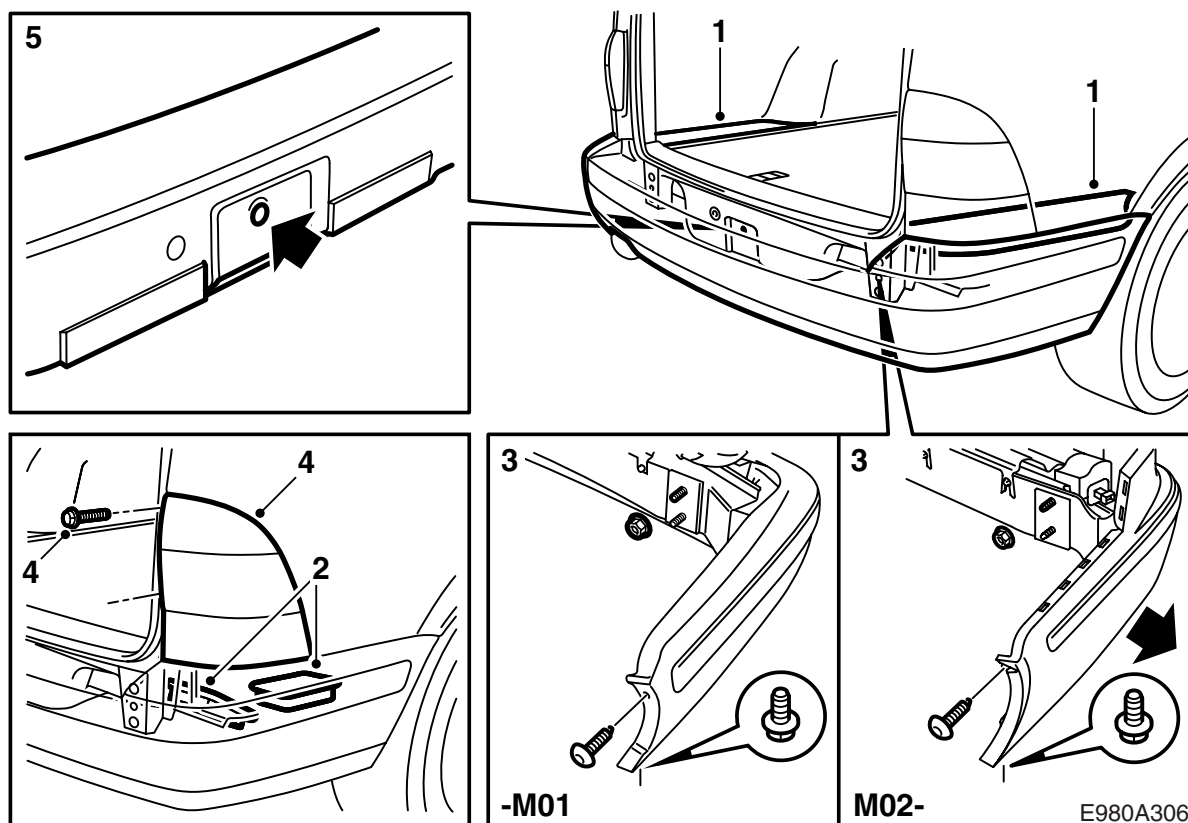
最大許容ボール部荷重： 75 kg

コンプリート重量： 10.4 kg

重要事項

車は、けん引装置取付後、車両検査を受けること。その際に、この説明書を提示する。

けん引装置用ワイヤーハーネスの取付けおよび接続については、ワイヤーハーネスに同梱されている説明書に従って行うこと。

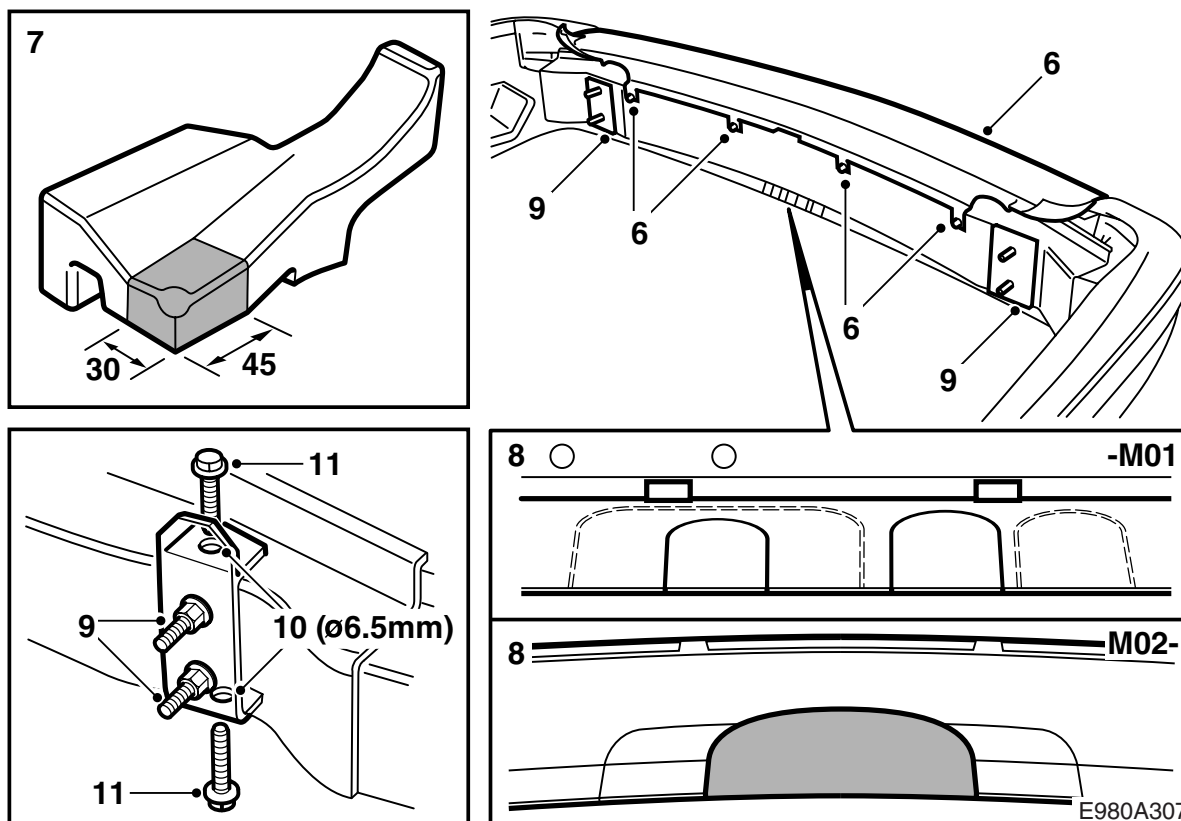


- 1 トランクルームのフロアの外側部分を外す。
- 2 ストレージポケットを持ち上げ、ボディ後端内部から発泡樹脂ブロック（それぞれの側に2個）を引き出す。
- 3 **-M01**：ホイールハウジングのネジとラゲッジスペースからナットを取り外して、バンパーを取り外す。
M02-：ホイールハウジングのネジ、およびラゲッジスペースからナットを取り外し、同時にバンパーのサイドパネルを外側に引いてバンパーを取り外す。
SPA 装備車：コネクターを分離する。

重要事項

バンパーを汚れていない柔らかい下敷きに置く。

- 4 **-M01**：ネジ上のカバーリッド2個、ネジ、およびライト前端的ブラケットを取り外してリアライトを外す。
- 5 ジャッキとけん引アイを取り外し、ラバープラグを取り付ける。



6 **-M01:** バンパーシェルの上部のネジをいくらか緩め、注意してシェルの上部をスナップから外す。

M02-: バンパーシェルの上部のネジをいくらか緩め、バンパーのモールディングの角を外して、シェルの上部をスナップから気を付けて外す。

M02- の SPA 装備車: センサーのコネクターを取り外す。

7 バンパー外殻のサポートを取り外し、図示のように左側サポートに切り込みを入れ、同様に右側も加工する。

8 **-M01:** 図示に従って、フック型の万能ナイフで、外側の印に沿ってけん引フック用にバンパーシェルの切り取り、余分な部分 (A) も切り取る。ワイヤーハーネスの接続ソケット用の印の部分も切り取る (スティックソーを使用してもよい)。また、バンパーの下側のけん引フックとソケット用に切り取った部分の間の箇所も取り除くこと。

M02-: フック型の刃の付いた万能ナイフを使って、印に沿ってけん引フック用にバンパーシェルの切り取る (スティックソーを使用してもよい)。

重要事項

細心の注意を払って切り取ること。外観が非常に重要である。必要に応じてやすりで調整する。

9 バンパーレールのスペーサーを取り外し、補強部をその位置に取り付ける。バンパーの4個のナットを締め付け、補強部を固定する。

10 安全ゴーグルを使用して、バンパーレールに6.5 mmのドリルで4個の穴を開ける。バンパーレールからドリル屑を取り除く。

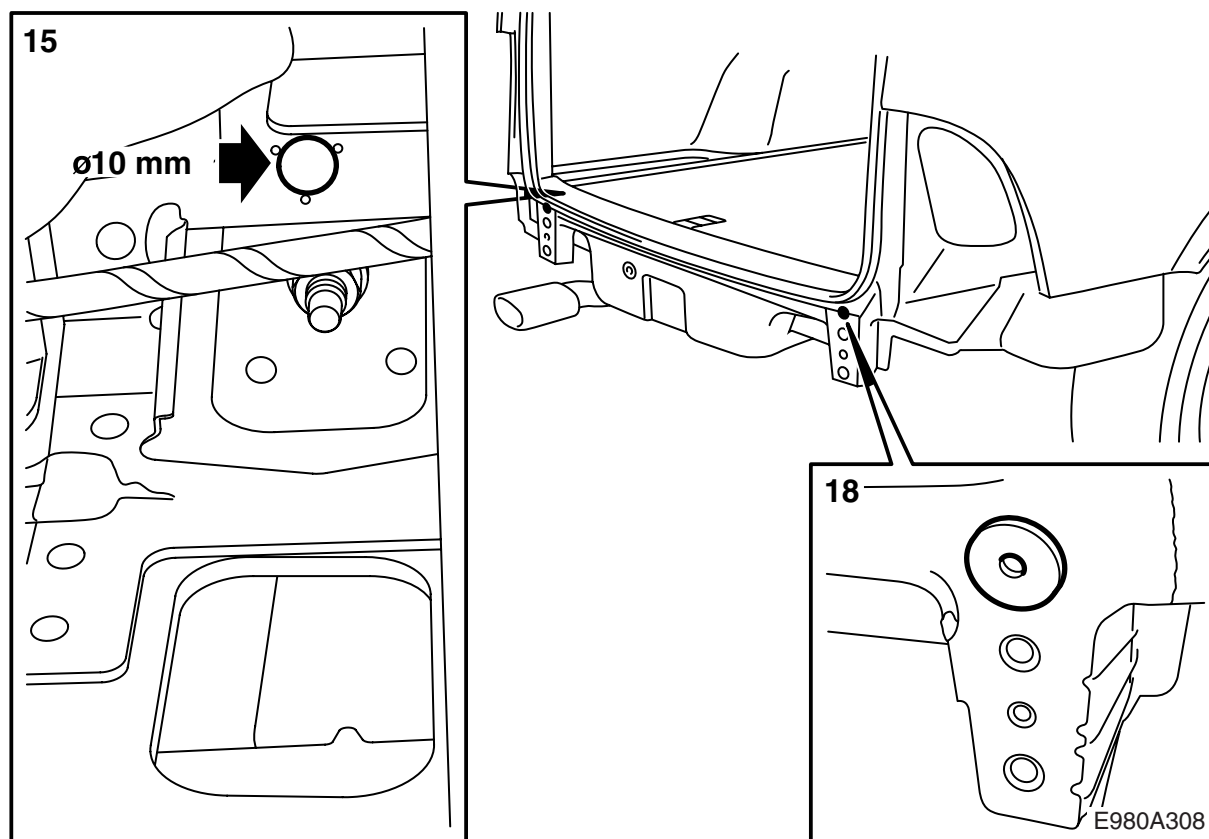
11 タップタイトネジを取り付ける (タッピンネジ)。

締め付けトルク値: 25 Nm (20 lbf ft)

12 ナット類を除去し、バンパー外殻のサポートをはめ込む。

重要事項

細心の注意を払って切り取ること。外観が非常に重要である。必要に応じてやすりで調整する。

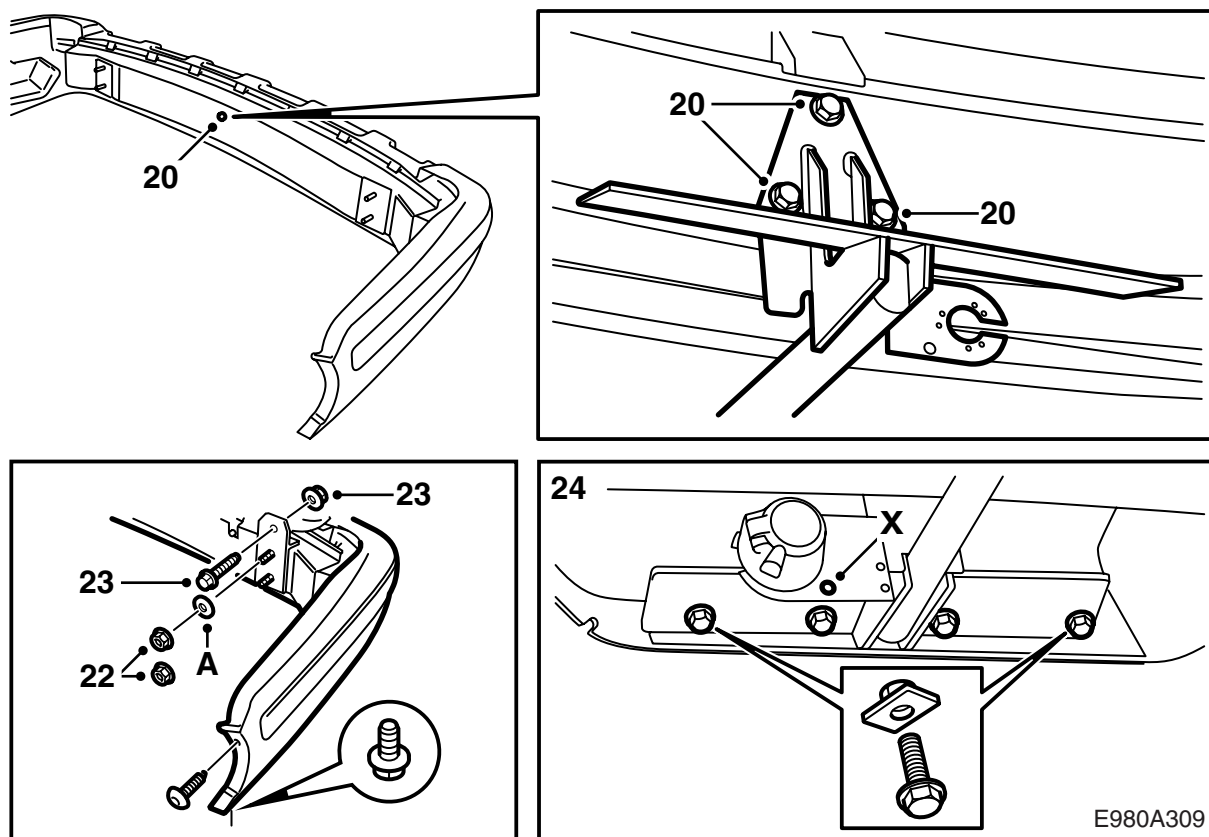


- 13 **-M01:** 車体のバンパー補強部の取り付け箇所からシーリングコンパウンドを削り取る。
- 14 バンパーの位置決めをし、2個の上部ナットで車体に取り付ける。
- 15 安全ゴーグルを使用し、10 mm のドリルでスリーブを通して、リアエンドパネルと補強部に穴を開ける。

重要事項

車のワイヤーハーネスを損傷しないように注意すること。

- 16 バンパーを取り外し、トランクルームからドリル屑を取り除く。
- 17 穴のバリを取り除き、散らばった切子や塗装屑を除去する。
- 18 シールを車体に取り付け（接着剤付き）、内側の表面にキャビティシーラント Terotex HV 400（部品番号 30 15 930）を塗布する。
-M01: 車体シーラントを削り落とした表面に防食剤を塗布する。
- 19 ワイヤーハーネスのセットの説明に従って、選択したワイヤーハーネスを取り付ける。



- 20 バンパーレールの穴の 1 つに取り付けられているネジを取り外し、けん引ユニットをバンパーに取り付ける。けん引ユニットの上部ネジの上にある線がバンパーレールと平行になっていることを確認する。

締め付けトルク値：40 Nm (30 lbf ft)

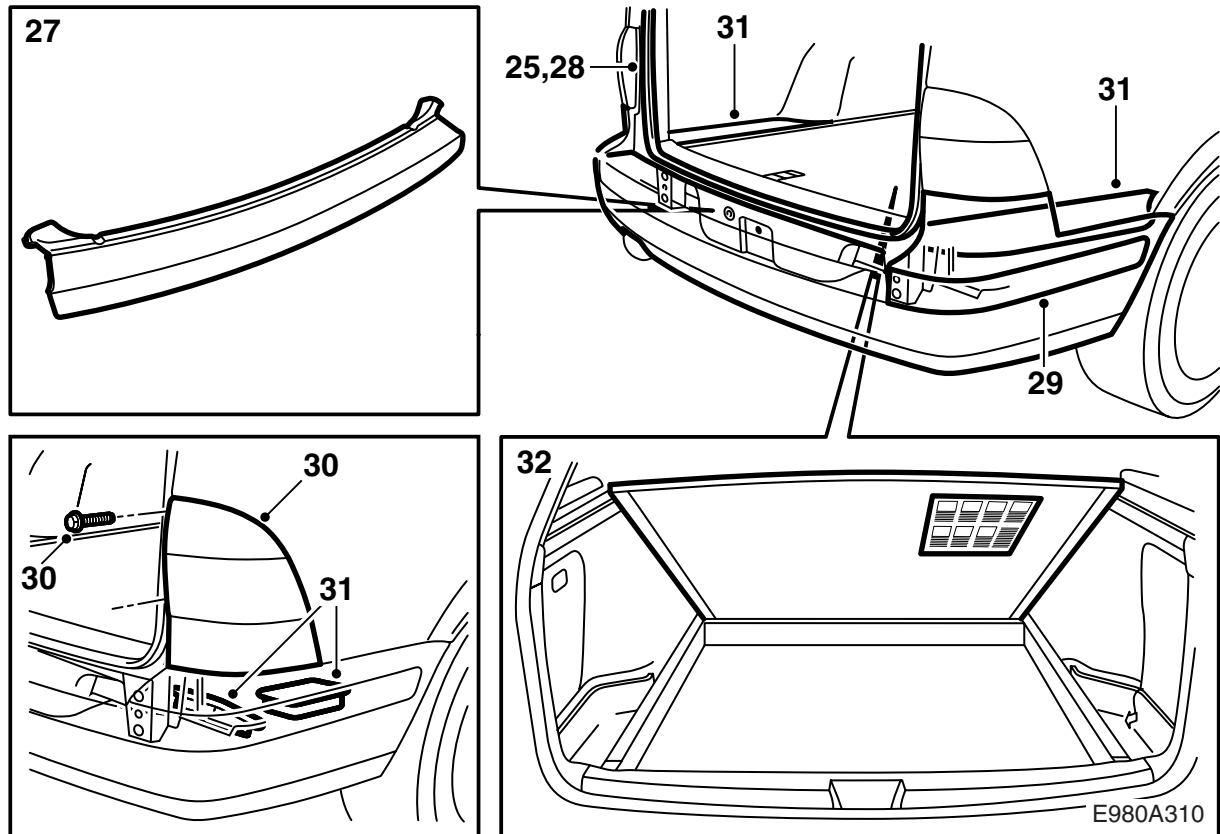
- 21 バンパーを所定位置に配置する。
SPA 装備車：コネクタを接続する。
- 22 **-M01：**バンパーを所定位置に配置し、4 個のナットで車に取り付ける。
M02- 4 個のナットと一番上のナットの下にワッシャー (A) を付けて、バンパーを取り付ける。

締め付けトルク値：40 Nm (30 lbf ft)

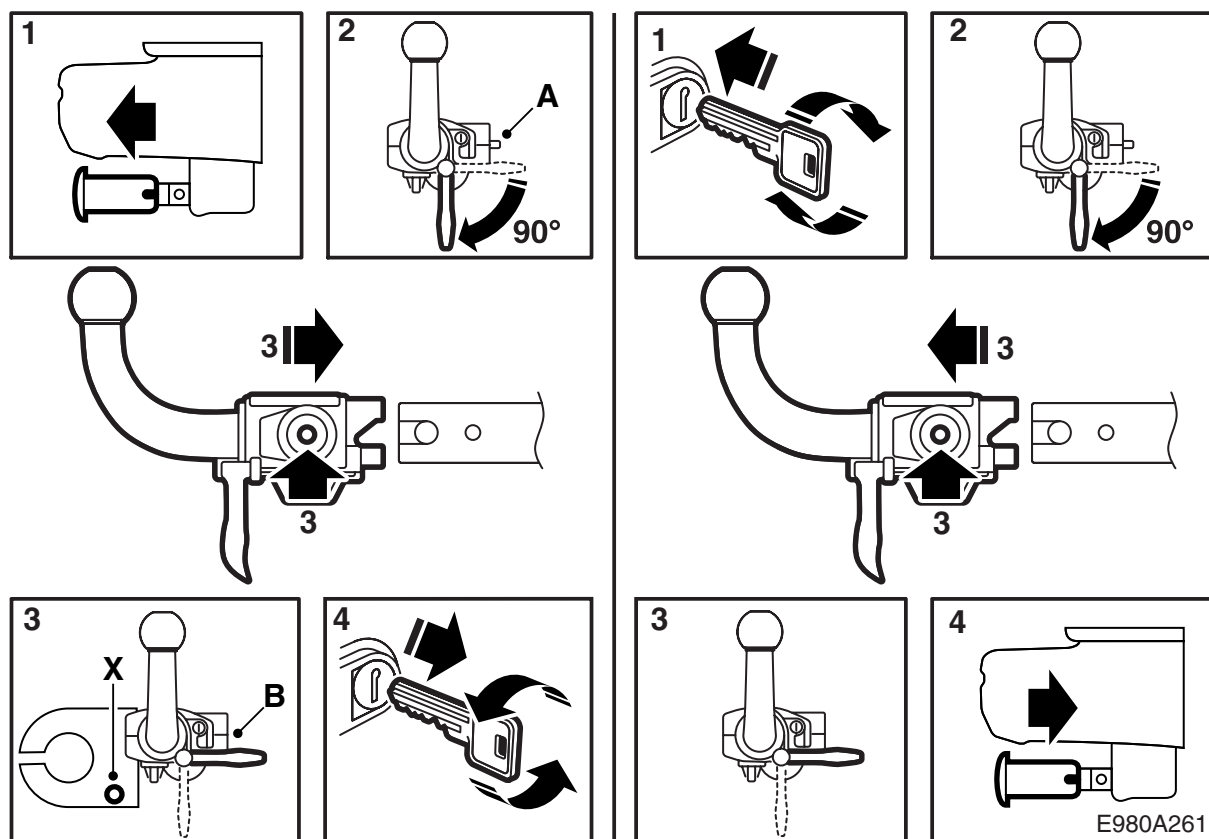
ホイールハウジングのネジを取り付ける。

- 23 補強板を車に締め付けて固定する。
締め付けトルク値：40 Nm (30 lbf ft)
- 24 ボルトおよびボディにけん引装置を保持するナット付きプレートを取り付ける。

締め付けトルク値：40 Nm (30 lbf ft)



- 25 テールゲート開口部周囲のウェザーストリップの下部分を引張って外す。
- 26 **M02-** で SPA 装備車：センサーを接続する。
- 27 **-M01:** バンパーシェルの上部を、バンパービームの4本のネジに合わせて、再び取り付ける。その後、フックで角を固定する。ネジを締め付ける。
M02-：バンパーシェルの上部をシェルの開口部に挿入し、フラップをバンパービームの4個のネジに対して位置合わせをする。大きいドライバーを使用して、フラップをネジのワッシャーの後方に配置する。ネジを締め付ける。
- 28 トランクリッドの周りのシーリングモールディングを再び取り付ける。
- 29 **M02-**：バンパーモールディングの角を取り付ける。
- 30 **-M01:** リアライト類を取り付ける。
- 31 ジャッキをツールトレイに配置し、フォームブロックをトランクルームのバンパーの固定部に取り付け、収納トレイとトランクルームフロアの外側パネルを元に戻す。
- 32 トランクルームのフロアを持ち上げ、図に従って取扱説明書を貼りつける。
- 33 ヒッチボールユニットを取り付けてみて、機能を点検する。
- 34 ヒッチボールユニットの着脱方法に関するページを慎重に切り外して、取付説明書及びキーと一緒に顧客に手渡す。



ユーザーの方へ

(車のオーナーズマニュアルの中に保管して下さい)

A ボールユニットがロックされていません。

B ボールユニットがロックされています。

X トレーラー/ トレーラーハウスの安全チェーン取付用の穴。

3 カップリングピンにボールユニットを挿入し、ロック位置まで押し込みます。すると、ボールユニットのハンドルが水平位置に復帰し、インジケータピンが飛出していない内部位置となります。

4 キーを反時計回りに回します。キーを抜き取り、錠のカバーを取り付けます。これでボールユニットが車にロックされた状態となっています。

⚠ 警告

けん引装置を**安全**に取り付けるため、次のような要求が課されています。

- カップリングピンには**常時**グリスを塗布して下さい。適正グリスに関しては最寄のサーブディーラーにご連絡下さい。
- ボールユニットが取り外されている際には、**必ず**保護カバーを取り付けておかなければならない。
- ボールユニットは、引っかかりたりせずに**いつでも**スムーズに取り外しや取り付けが出来るようにして下さい。
- ヒッチボールユニットが取り付けられている際には、赤いインジケータピンが必ず内側の位置(B)となっていないければなりません。

ボールユニットの取り付け

- 1 カップリングピンの保護キャップを除去します。
- 2 ボールユニットのハンドルを時計回りにロック位置まで回します。すると赤いインジケータピンが外部位置(A)に押出されます。

⚠ 警告

- インジケータピンが内部位置(B)となっており、飛出していないことを確認して下さい。
- 車にボールユニットが取り付けられている時は、**必ず**キーを使って施錠されているようにして下さい。また、キーは、抜き取っておいて下さい。

ボールユニットの取り外し

- 1 錠のカバーを引っ張って外し、キーを差込んで時計回りに回します。これでもう、車にボールユニットがロックされていない状態となります。
- 2 ボールユニットのハンドルを時計回りにロック位置まで回します。すると赤いインジケータピンが外部位置に押出されます。
- 3 ボールユニットをカップリングピンから引き抜いて外します。するとインジケータピンが内部位置となり、ハンドルが水平位置に戻ります。
- 4 カップリングピンの保護キャップを元に戻します。
- 5 ボールユニットを取り外した場合は、スペアタイヤの中に保管し、ホイールボルト用の穴にベルトを通して固定します。